

県立美術館・博物館の評価について

博物館は学校教育や生涯学習ばかりでなく、まちづくりや地域文化振興の面での役割など、さまざまな住民ニーズに対応できるような運営改善が求められており、入館者数など定量的評価だけではない幅広い評価が必要とされています。

千葉県教育委員会では、平成18年度から各県立美術館・博物館で本格的に博物館評価制度を実施しています。この評価制度は、

- (1) 全館共通の評価項目に基づいて、各館で設定した評価項目について、自らその達成度を評価する「自己評価」
- (2) 各館の自己評価結果や達成目標について、外部委員から改善策についての助言を受け、県立博物館全体の経営改善・博物館運営などの重点戦略について評価を行う「外部評価」

で構成されています。そして、その結果について博物館の使命に基づく経営・運営戦略の策定、戦略実現に向けた目標設定、経営改善や施設改善の計画立案等に反映させてまいりました。

しかし、現在、県立美術館・博物館は、県の行政改革「公の施設の見直し方針」を受け、各館の在り方を検討しています。このため、「外部評価」は中・長期的視点での経営戦略等に生かすことができません。そこで、平成29年度にこれまでの評価制度の成果と課題を総括し、「外部評価」は平成30年度から一旦休止とすることとしました。